

## 研究報告 1

# 英語の授業に関する生徒の意識調査 －言語活動を中心とした指導方法の工夫に向けて－

愛知県立成章高等学校 教諭 谷中 美奈子

## 1 はじめに

高等学校新学習指導要領の実施を目前に控え、外国語（英語）科の指導においては、英語で授業を行うことを基本とし、生徒のコミュニケーション能力の育成を目指した授業改善を進めることが強く求められている。生徒による英語の使用を充実するためには、各科目の目標に合った言語活動を授業に導入していくことが必要である。例えばペア・ワークやグループ・ワークを取り入れることにより、一人一人の生徒に実際に英語を使用する機会を与えることができる。

しかし、生徒がそれらの言語活動に対してどのような気持ちで取り組んでいるのかということについては、普段の授業の中で意識することは少ないのではないか。また、高等学校入学前に中学校でどのような授業を受け、さまざまな言語活動に対してどのような印象をもっているのかということを考えることも少ないであろう。

そこで、中学校及び高等学校において、生徒はどのような英語の授業を受け、どのような印象をもっているのか、また、どのようなことを求めているのかを把握し、今後の授業改善に資することを目的として、アンケート調査を行うことにした。

## 2 調査の方法

### (1) 調査方法

「英語の授業についてのアンケート」の実施（成章高 p.7 資料 1）

### (2) 調査対象校及び調査対象者

県内の県立高等学校（6校）普通科第1学年生徒 各校任意の80人程度

男子生徒 247人 女子生徒 229人 合計 476人（男女比 男子 51.9%：女子 48.1%）

### (3) 実施期間

平成 24 年 6 月 19 日（火）から 7 月 18 日（水）まで

## 3 調査の結果及び分析

### (1) 中学校での英語の授業について

中学校の英語の授業についてのアンケート結果を以下のようにまとめた。

#### ① 授業は英語で行われていたか

ほぼ 行われていた	半分くらい 行われていた	あまり 行われていなかった	全く 行われていなかった
5.3%	32.6%	49.8%	12.2%

② ALT（外国語指導助手）と話すことは好きだったか ※話したことがない：3.4%

好きだった	やや好きだった	あまり好きではなかった	嫌いだった
22.5%	39.9%	28.2%	5.9%

③ 言語活動について、それぞれ好きだったか

(ア) 英語を使ったゲーム（インタビューなどの活動）

(イ) 英語の歌

(ウ) 生徒同士のペア・ワーク（二人での英語を使ったやりとり）

(エ) 生徒同士のグループ・ワーク（数人での英語を使ったやりとり）

(オ) スピーチ（英語による人前での発表，Show and Tell など）

[全体] ※話したことがない：(イ) 歌 11.8%，(エ) グループ・ワーク 5.5%，(オ) スピーチ 9.5%

	好きだった	やや好きだった	あまり好きではなかった	嫌いだった
(ア) ゲーム	29.2%	39.5%	23.3%	7.4%
(イ) 歌	27.3%	32.4%	22.5%	6.1%
(ウ) ペア・ワーク	18.1%	36.6%	33.8%	9.5%
(エ) グループ・ワーク	25.8%	34.9%	26.5%	7.4%
(オ) スピーチ	6.1%	15.8%	38.7%	29.8%

[男女別] ※上段男子，下段女子

	好きだった	やや好きだった	あまり好きではなかった	嫌いだった
(ア) ゲーム	29.2%	37.3%	24.7%	8.5%
	29.3%	41.9%	21.8%	6.1%
(イ) 歌	26.3%	32.4%	23.5%	8.1%
	28.4%	32.3%	21.4%	3.9%
(ウ) ペア・ワーク	16.6%	39.3%	32.8%	9.3%
	19.7%	33.6%	34.9%	9.6%
(エ) グループ・ワーク	24.3%	33.2%	30.0%	8.1%
	27.5%	36.7%	22.7%	6.6%
(オ) スピーチ	6.5%	18.6%	38.9%	29.6%
	5.7%	12.7%	38.4%	30.1%

④ 授業ではどこに重点が置かれていたか

聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	4技能すべて
2.1%	14.1%	15.6%	23.1%	44.8%

⑤ 授業で英語でのコミュニケーション能力が身に付いたと思うか

そう思う	ややそう思う	あまりそう思う	全くそう思う
8.8%	44.3%	37.4%	9.5%

⑥ 中学校の英語の授業に満足しているか

満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない
<b>27.3%</b>	<b>42.0%</b>	24.8%	5.9%

①に示されるように、中学校で授業が英語で行われていたと回答したのは、「半分くらい」を含めても 37.9%であった。高校入学の段階では、6割以上の生徒が英語で授業が行われることには慣れていないことが分かる。

②では、ALTと話すのが好きだった生徒が「やや好きだった」を含めて 62.4%おり、ALTが加わった授業を好意的に受けていたと思われる。また、「嫌いだった」と答えた生徒も 5.9%と少なく、ALTと話すことにはあまり抵抗感をもっていなかったことが分かる。

③の言語活動について、全体として最も好まれた言語活動はゲームであり、「やや好きだった」を含めると 68.7%の生徒が英語を使ったゲームに好意的であった。一方、多くの生徒から「嫌いだった」とされたのがスピーチで、「あまり好きではなかった」を含めると 68.5%の生徒が抵抗感をもっていたようである。ペア・ワークについては 54.7%、グループ・ワークについては 60.7%の生徒が「やや好きだった」を含めて「好きだった」と回答している。全体として個人で取り組む活動よりも集団で活動するのを好んだようである。また、男女別に見てみると、女子の方がゲームやグループ・ワークといった人数の多い集団で活動することを好む傾向が見られる。

④では、4技能がバランスよく指導されていたという回答が4割以上あり、次いで、「書くこと」「読むこと」「話すこと」の順に重点が置かれていたことが分かる。「聞くこと」に重点が置かれていたという回答は非常に少なかった。

⑤からは、授業でコミュニケーション能力が身に付いたと感じている生徒が「やや身に付いた」を含めると5割以上である。⑥では中学校の英語の授業について、「やや満足」を含めると7割近くが満足と回答している。多くの生徒は授業でコミュニケーション能力を身に付けた実感があり、満足している生徒も多い。

(2) 高等学校での英語の授業について

高等学校の英語の授業についてのアンケート結果を以下のようにまとめた。

① 授業（英語 I）は英語で行われているか

ほぼ行われている	半分くらい行われている	あまり行われていない	全く行われていない
<b>53.6%</b>	<b>32.6%</b>	12.0%	1.9%

② ALT（外国語指導助手）と話したいか

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
<b>16.8%</b>	<b>39.1%</b>	36.8%	7.4%

③ 言語活動をしたいか

- (ア) 英語を使ったゲーム（インタビューなどの活動）
- (イ) 英語の歌
- (ウ) 生徒同士のペア・ワーク（二人での英語を使ったやりとり）
- (エ) 生徒同士のグループ・ワーク（数人での英語を使ったやりとり）
- (オ) スピーチ（英語による人前での発表，Show and Tell など）

〔全体〕

	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
(ア) ゲーム	<b>22.7%</b>	<b>37.8%</b>	30.0%	9.5%
(イ) 歌	<b>24.8%</b>	<b>29.0%</b>	28.4%	17.9%
(ウ) ペア・ワーク	<b>15.3%</b>	<b>34.0%</b>	37.2%	13.2%
(エ) グループ・ワーク	<b>20.2%</b>	<b>34.7%</b>	32.6%	12.6%
(オ) スピーチ	5.5%	11.1%	<b>42.2%</b>	<b>40.3%</b>

〔男女別〕 ※上段男子, 下段女子

	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
(ア) ゲーム	23.9%	34.8%	29.2%	12.2%
	21.4%	41.1%	30.1%	6.6%
(イ) 歌	24.7%	27.9%	28.3%	19.0%
	24.9%	30.1%	28.4%	16.6%
(ウ) ペアワーク	14.2%	36.0%	37.7%	12.2%
	16.6%	31.9%	36.7%	14.4%
(エ) グループ・ワーク	20.7%	32.0%	34.8%	12.6%
	19.7%	37.6%	30.1%	12.7%
(オ) スピーチ	7.3%	13.4%	41.7%	37.7%
	3.5%	8.7%	42.8%	43.2%

④ 授業で重点を置いてほしいことは何か

聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	4技能すべて
6.1%	<b>21.0%</b>	5.0%	11.6%	<b>56.3%</b>

⑤ 授業で英語でのコミュニケーション能力が身に付けたいか

そう思う	ややそう 思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
<b>52.7%</b>	<b>33.0%</b>	11.1%	2.1%

⑥ 高等学校の英語の授業に満足しているか

満足して いる	やや満足 している	あまり満足 していない	全く満足 していない
<b>29.0%</b>	<b>49.2%</b>	16.0%	4.2%

⑦ ⑥で「あまり満足していない」、「全く満足していない」で回答した場合、その理由は何か

文法の学習が多い	日本語に訳す学習が多い	英語を使う活動が少ない
4.2%	5.2%	6.3%
授業内容が分からない	毎回同じような授業で単調	教材に興味をもてない
<b>41.7%</b>	15.6%	15.6%

①からは、英語による授業は、「半分くらい行われている」を含めると 86.2 %であり、大半の生徒は英語 I の授業が英語で行われているという実感をもっていることが分かる。中学校では 4 割に満たない生徒しか英語で行う授業を受けていなかったことと合わせて考えると、生徒は戸惑いや違和感をもたずに授業に臨んでいるのか、授業に対する不満はないのか、という点が心配される。しかし、⑥の授業に対する満足度を見ると、「やや満足している」を含めて満足していると回答した生徒は 8 割近くであり、中学校の授業よりも満足度は高い。よって、全体としては英語で行う授業への抵抗感はないと考えられる。逆に、授業に満足していないと回答した約 20 %の生徒のうち、「授業内容が分からない」とした生徒が一番多く約 4 割、次いで「毎日同じような授業で単調」や「教材に興味がない」という回答が見られた。

次に③の言語活動については、全体の傾向は中学校についての回答とほとんど変わっていない。最も好まれている活動は高等学校でもゲームであるが、中学校の時のようには好まれていない。おそらく心身の成長とともにゲームへの意識も変化したのであろう。また、顕著なこととして、スピーチについて「全くしたくない」と回答した生徒が約 4 割となっており、「あまりしたくない」を含めると 8 割以上の生徒が望んでおらず、中学校の時よりもさらに望まれない言語活動となっている。要因として、人前で発表することに慣れていなかったり、スピーチをする英語の正しさに自信がもてなかったりすることなどが考えられる。

歌が歌いたいかどうかについては、「そう思う」と回答した生徒が言語活動の中で最も多く 24.8 %であるが、「全く歌いたくない」と回答している生徒も 17.9 %となっており、生徒によって好き嫌いが表れやすい活動であることが分かる。言語活動についての男女別の傾向についても、中学校の時とあまり変わらないが、スピーチについては女子が敬遠する傾向が顕著になっている。男子が「あまりしたくない」を含めてスピーチをしたくないのが 79.4 %であるのに対し、女子は 86.0 %となっている。

②の ALT については、「話したいとやや思う」を含めると、5 割以上の生徒が話したいと思っている。言語活動に ALT とのやり取りなどを組み込んでいくことにより抵抗感を減らすことが期待される。特にスピーチについては効果的に組み込んでいきたい。

④の授業の重点項目については、「4 技能をバランスよく」学びたいと思っている生徒が 5 割を超えている。また、「話すこと」、「書くこと」といった英語による表現に重点をおいてほしいと考える生徒は多いが、「聞くこと」、「読むこと」といった英語による理解については少ない。⑤の結果からは、9 割近くの生徒がコミュニケーション能力を「身に付けたい」と思っていることが分かる。授業には生徒のコミュニケーション能力を高めるための手だてが必要であることが、生徒自身の声から読み取れる。

#### 4 今後の課題

教員が生徒の実態に合わせて英語で授業を行うことを基本として、生徒の言語活動に 4 技能をバランスよく取り入れる必要がある。また、英語による表現の能力を高めるために「話すこと」「書くこと」を単元構想に組み込み、計画的に指導していくことで、生徒が望むコミュニケーション能力の育成ができる。これらを踏まえて、指導方法の工夫を重ねる必要がある。

今回の調査結果ではスピーチは不人気であったが、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、表現の能力を高める点で重要な活動である。生徒の特性や能力に応じた取り組みやすい

テーマを設定し、分かりやすく原稿作成手順を示した上で、十分な練習時間を与えたり個人指導をしたりして、生徒が興味をもって取り組めるような手だてを工夫することが必要である。さらに、話し手としてだけでなく、聞き手としての留意点を具体的に示すなど、発表しやすい雰囲気づくりも大切であるとする。

また、今回は高等学校第1学年生徒の授業に対する意識を調べたが、いずれの学年のどの科目についても、生徒が授業を受けて学習目標を達成できたかどうかを振り返らせ、教員もその結果を踏まえて授業改善の取組を継続していく必要がある。また、生徒の意識や変容を捉えるためにはアンケートも有効であるが、教室での日々の生徒の表情や言動の変化にも気を配り、生徒を直接指導する教員にしか見付けることができない変化を見逃さないようにしたい。

## 5 おわりに

新学習指導要領の実施に向けて、各校でさまざまな取組がなされている。その際には、一緒に教える教員の共通理解や、指導と評価の一体化を忘れないようにしたい。生徒のコミュニケーション能力やコミュニケーションを図ろうとする態度の育成は、教員の側の団結があってこそ可能なのであろう。生徒の実態を捉えて3年間でどのように成長させるのか、更に授業改善を行いながら、本校の生徒の能力伸張のために他の教員とともに尽力していきたい。

## 参考文献等

- 文部科学省『高等学校学習指導要領』平成21年3月告示
- 文部科学省(2010)『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』
- 愛知県総合教育センター(2005)『授業の手引き 高等学校 英語』
- 国立教育政策研究所 教育課程研究センター『評価基準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料(高等学校 外国語)』

【資料1 英語の授業についてのアンケート】

○質問は問1から問23まであります。

○回答はすべてマークカードにHBの鉛筆かシャープペンシルでマークしてください。

○各質問についてマークするのは一つだけです。

○問23で「⑦その他」と答えた場合は、マークカードの⑦にマークするとともに、この用紙の指示された欄に記述してください。

問1 性別を教えてください。

- ① 男 ② 女

◆問2から問11までは中学校での英語の授業についての質問です。

問2 授業は英語で行われていましたか。

- ①ほぼ英語で行われていた ②半分くらい英語で行われていた  
③あまり英語では行われていなかった ④全く英語では行われていなかった

問3 ALT（外国語指導助手）と話すことは好きでしたか。

- ①好きだった ②やや好きだった ③あまり好きではなかった ④嫌いだった  
⑤話したことがなかった

問4 英語を使ったゲーム（インタビューゲームなどの活動）は好きでしたか。

- ①好きだった ②やや好きだった ③あまり好きではなかった ④嫌いだった  
⑤したことがなかった

問5 英語の歌を歌うことは好きでしたか。

- ①好きだった ②やや好きだった ③あまり好きではなかった ④嫌いだった  
⑤歌ったことがなかった

問6 生徒同士のペア・ワーク（二人での英語を使ったやりとり）は好きでしたか。

- ①好きだった ②やや好きだった ③あまり好きではなかった ④嫌いだった  
⑤したことがなかった

問7 生徒同士のグループ・ワーク（数人での英語を使ったやりとり）は好きでしたか。

- ①好きだった ②やや好きだった ③あまり好きではなかった ④嫌いだった  
⑤したことがなかった

問8 スピーチ（英語による人前での発表、Show and Tell など）は好きでしたか。

- ①好きだった ②やや好きだった ③あまり好きではなかった ④嫌いだった  
⑤したことがなかった

問9 授業ではどこに重点が置かれていたと思いますか。

- ①英語を聞くこと ②英語を話すこと ③英語を読むこと ④英語を書くこと  
⑤英語を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことをバランスよく

問10 授業で英語でのコミュニケーション能力が身に付いたと思いますか。

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない

問11 中学校の英語の授業に満足していますか。

- ①満足している ②やや満足している ③あまり満足していない ④全く満足していない

